

2023 クラブマンロードレース第3戦

順位	車番	名前	クラブ名	車名	POINT
■E アンリミテッド 参加: 7台/入賞: 2位					
1	46	山中 正之	MCR ガレージ	H-CBR1000RR	25
2	3	高原 昌幸	EISHIN レーシング	Y-YZF-R1	20
3	18	Thierry Leung	M.T.BOMBER	DUCATI-Panigale V4R	16
4	4	吉野 倫夫	RT.Remotion	Y-YZF-R1	13
5	2	蔵本 勝美	プライベートレーシング☆TSK	Y-YZF-R1	11
6	51	水津 英彦	Team PRIZE	BMW-S1000RR	10

■N アンリミテッド 参加: 2台/入賞: 1位					
1	8	鎌田 淳	Leon & RGTT Racing	Y-YZF-R1	25
2	59	久保田 翔	M.T.BOMBER	S-GSX-R1000	0

■OV40-LEGEND 参加: 13台/入賞: 4位					
1	59	掛川 啓一	Club K's project	H-CBR1000RR-R	25
2	56	林 勝輝	皆様! FD 様! 感謝!!!	DUCATI-998R	20
3	6	山田 博文	やまだ行政書士事務所 RT	Y-YZF-R1	16
4	45	高野 利勝	チームRS カタクラ & RF.Team Jun	Y-XJR1200	13
5	29	霧生 晴彦	チーム☆マジハット	APRILIA-RSV4	11
6	74	望月 学	NNRC ガレージコナー ドリンダ	S-GSX-R1000	10
7	22	市橋 修吾	ロードマスターズ M.C.&プロレーシング	K-ZX-9R	9
8	17	伊藤 延佳	Bullets	Y-MT-09	8
9	20	丸山 匠	REAL FLAT	H-VFR750F	7
10	72	安西 桑一	チームRS カタクラ & RF.Team Jun	Y-YZF-R1	6
11	67	比留間 俊一	ロードマスターズ MC & プロレーシング	K-KZ1000J	5

■スーパーモンスター-80s-A 参加: 4台/入賞: 1位					
1	30	佐藤 正之	GP クラフト	K-Z900	25
2	92	小野 邦彦	Roadrace-1DAY-Lisence	K-Z1000LTD	20
3	38	岩松 信秀	Roadrace-1DAY-Lisence	K-Z750LTD	16

■スーパーモンスター-80s-B 参加: 1台/賞典外					
1	40	高橋 季之	静岡バイククラブ	K-ZRX1200DAEG	--

■サイドカーF I 参加: 6台/入賞: 2位					
1	12	小沼 英明	富本至高 team TRS	KUMANO-LCR-GSX-R1000	
2	5	吉野 晴夫	渡辺富士男 レイク SUWA	YZF-1100R	
3	54	清野 正光	中山結緒 ウェンダレーシング アツキ	LCR-GSX-R1000	
4	28	栗原 亨	小田切俊 ウェンダレーシング アツキ	LCR-ハヤブサ	
5	9	粕谷 悦次	小林佳南 Team 赤蜻蛉	LCR-GSX-R1000	
6	6	原口 修	大関 政広 ウェンダレーシング アツキ	LCR-CBR954	

■サイドカーF II 参加: 3台/入賞: 1位					
1	13	平知恭	平有紀 Club Taira Promote	LCR-F2-600	
2	33	大和田 重美	古矢 満 OCTRUN RACING	MR-エキップ GSX-R600	
3	11	関原 肇	安田武司 ウェンダレーシング アツキ	YZF-GSX-R1100	

< RACE REPORT >

暑さ寒さも彼岸までとはよく言ったもので、9/24に開催した2023クラブマンロードレース第3戦(最終戦)は、快晴ながら気温25℃程度と過ごしやすく、絶好のレース日和でした。

エントリーは第1戦を超える台数が集まり、パドックはごった返し状態。特筆すべきは観戦者数、こちらも第1戦を凌ぐチケット販売数を記録し、たくさんのロードレースファンに喜んでいただけたことと感謝いたします。

さてレースの方は、E アンリミテッドクラスに今島TTを無事完走しブロンズトロフィーをゲットした#46 山中 正之選手(MCR ガレージ)がH-CBR1000RRで参戦し、ポール to ウインで優勝。2位となった#3 高原 昌幸選手(EISHIN レーシング) Y-YZF-R1は僅差のタイムで快走し、ランキングチャンピオンに輝いた。混走のN アンリミテッドクラスでは#8 鎌田 淳選手(Leon & RGTT Racing) Y-YZF-R1がエキスパートクラスに食い込む好タイムでクラス優勝に輝いた。

オーバー 40 レジェンドクラスは#59 掛川 啓一選手(Club K's project)がH-CBR1000RR-RでEULにも匹敵する速いタイムで優勝。混走のスーパーモンスター-80'sでは#30 佐藤 正之選手(GP クラフト)がK-Z900で優勝し、ランキングチャンピオンも決定。

二輪レースでは特徴的なフォルムのサイドカークラスでは、上位

■GP125 参加: 4台/入賞: 1位					
1	13	石川 武	TEAM WIN-JACK	H-RS125R	25
2	15	鈴木 直樹	GUST CLUB nao R&D	H-RS125R	20
3	6	木村 一弘	RACING HORNET	H-NSF250R	16
4	11	越猪 友美子	チーム☆マジハット(ゆみば〜掛けずる)	H-RS125R	13

■NEOプロダクション 250 参加: 6台/入賞: 2位					
1	45	久保 隆	プライベートレーシング&ハニービー	H-CBR250RR	25
2	39	久保田 明紀	チーム☆マジハット	K-ZZR250RR	20
3	33	木村 浩之	ミックマックレーシング	H-CBR250RR	16
4	36	富山 卓	TEAM ZAMAER'S	K-Ninja250	13
5	34	矢野 慶一	チーム☆マジハット	H-CBR250RR	11

■NEO-A 参加: 7台/入賞: 1位					
1	64	小池 淳一	プライベートレーシング&ハニービー	H-NSR250	25
2	5	川又 毅	RIDE IN	H-NSR250R	20
3	47	阿部 晃三	イナ.レーシング.チーム	H-NSR250	16
4	73	椎崎 巧翔	Aki RACING P&Y	Y-TZR250	13
5	58	石松 健夫	秋葉 MC animo!	K-ZX-25R	11
6	7	矢田 博	S・R・T 莊レーシングチーム&パンダラ	Y-FZR250R	10

■NEO-B 参加: 1台/賞典外					
1	1	久保 時彦	Team Domani	Y-YZF-R3	--

■2&4-777マントロフィー 参加: 4台/入賞: 1位					
1	76	藤巻 光	ハワパイプ レーシング	H-chevallier841	25
2	63	池野 史典	NOGARO RACING	PP-PNF85	20
3	43	石川 裕司	NOGARO RACING+PP	PP-PNX85	16
4	30	中館 宏道	ハワパイプ レーシング	H-CR85	13

クラスのF Iクラスでは#12 小沼 英明選手/富本至高選手(team TRS)がKUMANO-LCR-GSX-R1000で1分0秒台という速さで優勝。F IIクラスでは#13 平 知恭選手/平有紀選手(Club Taira Promote)がLCR-F2-600で優勝し、チャンピオンも決定した。

2000年前後に活躍していた、純粋なレース車両125ccが出走するGP125クラスでは、#13 石川 武選手(TEAM WIN-JACK)がH-RS125Rで優勝。しかも全戦で優勝し、ランキングチャンピオンとなった。

250cc市販車両で闘うNEOプロダクション250クラスは、#45 久保 隆選手(プライベートレーシング&ハニービー)がH-CBR250RRで優勝。ネオクラシック250cc車両が争うNEO-Aクラスは#64 小池 淳一選手(プライベートレーシング&ハニービー)がH-NSR250で優勝した。

2&4クラブマントロフィーでは#76 藤巻 光選手(ハワパイプレーシング)がH-chevallier841で優勝した。

1980年までに市販された車両(125クラスは1983年まで)が対象の旧車レース、COTT-125クラスでは#6 有澤 弘幸選手(チームクリフト)が'80年式H-RS125Rで優勝。COTT-90クラスでは#51 黒米 晃一選手(ハワパイプレーシング)が'79年式S-RM80で優勝。COTT-50クラスでは#58 田島 保夫選手(チーム永楽)が'79年式H-MB5で優勝した。

ハーレーやインディアンなど1940年代~60年代までのアメリカンを中心としたAVCCでは、モディファイドAクラスに#40 熊谷 勝司選手(Team KUMA SPEED)が'46 HD-FL1380で全戦優勝しチャンピオン決定。モディファイドBクラスは#62 仁井田 光則選手(Natural Steel Works)が'46 HD-WR750で優勝。ストックBクラスでは#65 小林 寛明選手(Natural Steel Works)が'47 HD-WL750で優勝しチャンピオン決定。ショベルヘッドオープンクラスとなるFSCRクラスでは#77 西田 裕選手(JOYRIDE SPEED SHOP)が'76 HD-FLH1450で全戦優勝しランキングチャンピオンとなった。

順位	車番	名前	クラブ名	車名	POINT
■COTT-125 参加：7台/入賞：2位					
1	6	有澤 弘幸	チーム クレト	H-RS125R	25
2	185	野坂 嘉明	チーム 永楽	H-MT125R	20
3	40	松原 孝範	TEAM RISING & チーム 永楽	H-CR125M	16
4	48	平石 文謙	静岡スゴ〜ツライダーズ&望月太喜十郎	H-CB125JX	13
5	31	斉藤 博	静岡スゴ〜ツライダーズ&望月太喜十郎	K-KH125	11
■COTT-90 参加：5台/入賞：2位					
1	51	黒米 晃一	パワーハイブ レーシング	S-RM80	25
2	26	尾崎 則之	パワーハイブ レーシング	H-CR80	20
3	35	奥津 靖良	日大 & 明治 MCC	Y-YZ80	16
4	30	松橋 満	チーム 永楽	BS-90	13
5	54	須永 博	YSSレーシング ☆アタビレター	H-CR80RB	11
■COTT-50 参加：4台/入賞：1位					
1	58	田島 保夫	チーム 永楽	H-MB5	25
2	50	益子 國光 (09/24)	B.S. MC	BS-GB1	20

順位	車番	名前	クラブ名	車名	POINT
■AVCC-MDF-A 参加：2台/入賞：1位					
1	40	熊谷 勝司	Team KUMA SPEED	HD-FL1380	25
2	5	牧田 武史	Team KUMA SPEED	HD-FL1350	0
■AVCC-MDF-B 参加：5台/入賞：2位					
1	62	仁井田 光則	Natural Steel Works	HD-WR750	25
2	83	松井 康通	Natural Steel Works	HD-WLA750	20
3	60	船水 猛	TOKYO INDIANS RACING CLUB	INDIAN-BIG BASE90016	
4	32	土井 樹生	Valley Auto Racing	HD-WR750	13
5	39	新宮 慶之	Valley Auto Racing	INDIAN-Sport Scout11	
■AVCC-STOCK-B 参加：6台/入賞：2位					
1	65	小林 寛明	Natural Steel Works	HD-WL750	25
2	81	堀江 誠太	45 POWER N.S.W	HD-WLDR750	20
3	75	砂盆 太郎	Natural Steel Works	HD-WLA750	16
4	99	佐久間 隆介	クリームモーターサイクル	INDIAN -Sport Scout 13	
5	73	古山 彰一	ism Bike-Service	HD-WLA750	11
■AVCC-FSCR 参加：14台/入賞：4位					
1	77	西田 裕	JOYRIDE SPEED SHOP	HD-FLH1450	25
2	3	伊藤 一也	FIRST ARROW'S HOT-DOCK	HD-XR750	20
3	26	米澤 政幸	TEAM-HOT-DOCK	HD-XR750	16
4	52	伊藤 毅	ROUGH MOTORCYCLE	HD-FLH1340	13
5	47	TOM	CHALLENGER RACING	HD-FLH1450	11
6	89	近藤 純司	HOT-DOCK	HD-XR750	10
7	58	仲野 佳	ROUGH MOTORCYCLE	HD-FX1340	9
8	76	臼井 誠	JOYRIDE RACING	HD-FLH1340	8
9	54	清野 正光	ROUGH MOTORCYCLE	HD-FXS1340	7
10	56	柴田 達介	ROUGH MOTORCYCLE	HD-FXE1340	6
11	7	渡邊 清和	オートグラフィック アジマ	HD-XR750	5
12	14	藤田 亮	ROUGH MOTORCYCLE	HD-FL1340	4

<協賛スポンサー各社様>

(株)アライヘルメット / (株)ブリヂストン / 住友ゴム工業(株) / (有)テクニクス / (株)イングラム・(株)ビート (Norton) / (株)フォトクリエイト / (株)アールエスタイチ / (有)アルファー エアールビー カンパニー / オレンジワークス / (有)オートスタジオ スキル / (株)協和興材 (マイクロロン) / (有)小寺自動車販売 / (有)NUTEC Japan / (有)フォーシーズンズ / プライドワン / マーキュリープロダクツ(株) / (株)ニック / 望月太喜十郎 / (株)八重洲出版 / (有)エフェクト / FTP OIL PRODUCTS / (株)新栄 - ラビット三鷹 / (有)日高システム / ワークスワン / PHOTO HUNTER / 他 (順不同)



①



②



③



④



⑤



⑥



⑦

- ① GP125,NEO,2&4のクラスのスタートシーン
- ② NEO250 暫定表彰式では還暦を迎えたライダーが優勝し、赤い帽子とチャンチャンコで祝福されていた
- ③ GP125 連勝のチャンピオン石川選手が一番小さくなって写っているのが可笑しい
- ④⑤ NEO-A&B はベテランライダー独占
- ⑥ NORTON の協賛品を授与された入賞者はレース仲間に囲まれ上機嫌の暫定表彰式となった
- ⑦ 副賞に ZONE ENERGY DRINK の協賛品を授与したが、レース前に欲しかったとの声も